

令和4年度 社会教育推進事業概要

家庭教育支援事業	目的	家庭における教育力を高めるため、幼稚園、保育園、子育て広場など、地域の教育機能を活用し、連携・協働により、親子の育ちを応援する学習機会を提供する。
	計画当初	子育て・親育ち講座 9講座開催
	実績実施	子育て・親育ち講座 10講座開催 今年度については、受講者の利便性を意識して、地域の教育機能だけではなく、駅北サンガ広場で開催をしたり、平日だけではなく土曜日に開催する講座を設けた。それにより、多くの受講者を得ることができ、参加者から休日開催だと参加しやすいとの声もあった。
地域学校協働活動推進事業	目的	未来を担う子どもたちの成長を支えるために地域と学校、家庭が連携・協働し地域全体で教育に取り組む体制づくりや子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境づくりを推進し、地域の活性化を図る。
	計画当初	各地区地域学校協働本部(23地区)に事業委託
	実績実施	市内 23 地区で花の植え替えや郷土学習など地域と家庭、学校が連携しながら事業を実施した。
地域未来塾	目的	学習習慣が十分に身につけていなかったり、学習が遅れがちな中学生を対象に地域の協力を得て、学習支援を行う。
	計画当初	中学3年生及び義務教育学校9年生を対象とした学習支援、地域未来塾を各学校において実施
	実績実施	7中学校、1 義務教育学校において 315時間(昨年度より 44時間増)実施し、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進した。
亀岡市はたちの会	目的	式典対象者による実行委員会を設置し、企画立案及び実質的運営を行い、二十歳を対象とした式典を開催する。式典対象者による自発的な活動を支援することにより、青少年教育を推進する。
	計画当初	令和5年亀岡市はたちを祝う会(仮称)を実施。 【日時】 令和5年1月9日(月・成人の日) 【対象者】 925名〔参加見込 約75%〕 【設置組織】 亀岡市はたちを祝う会(仮称)検討委員会(教育委員会内) 亀岡市はたちを祝う会(仮称)実行委員会 (式典対象者代表)

		【会場】 サンガスタジアム by KYOCERA
	実績 実施	「亀岡市成人式」から「亀岡市はたちの会」に名称を変更し、式典を実施した。 令和4年度テーマ:「灯 ～主人公(はたち)が創るストーリー～」 【参加者】 675名〔参加率 73.0%〕
亀岡市さわやか教室	目的	おおむね60歳以上の方がふれあいを深めながら楽しく学ぶことを通じて、人生における教養の向上、生きがいの創造、仲間づくりを進め、より良い生活設計や社会参加のために必要な知識を得ることで社会的な能力を高め、家庭や地域社会で活かせるようにすることを目指して開設。
	計画 当初	年間5講座を開設
	実施実績	予定通り年間5講座を実施した。第1講座については、遠方の講師と会場を Zoom で繋いで講座を行うといった新たな手法を用いて開催した。講座内容は、音楽や食育などを通して生活を豊かにするという視点を入れた講座を実施することができた。
障がい者成人学級	目的	障がい者成人学級(知的障がい者・聴覚障がい者・視覚障がい者)を開設し、障がい者の社会参加、仲間づくり、地域の人たちとの交流を目的にさまざまな活動を展開する。
	計画 当初	① かめのご学級(知的障がい) 22回 ② かめの会(聴覚障がい) 20回 ③ ふれあい学級(視覚障がい) 20回 各学級で作成した作品の作品展を8月に開催。
	実施実績	① かめのご学級(知的障がい) 21回 ② かめの会(聴覚障がい) 21回 ③ ふれあい学級(視覚障がい) 30回 各学級で作成した作品の作品展を8月に開催した。
子ども会事業	目的	亀岡市子ども会育成連絡協議会主導のもと、各町子ども会育成組織との連携により、自主的な活動を推進できるよう、健全な育成指導と福祉の増進を図る。
	計画 当初	① 地域子ども活性化事業 2回 ・うどん作り(9/11) ・プログラミング(11/13) ② 子ども会育成者交流研修会 2回(5/22、7/17)
	実績 実施	① 地域子ども活性化事業 2回 ・うどん作り(9/11開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡

		大により中止) ・プログラミング(11/6) ・盲導犬センター見学(2/12) ②子ども会育成者交流研修会 2回(5/22、7/17)
PTA事業	目的	亀岡市PTA連絡協議会及び家庭教育委員会との連携により、誰もが安心して過ごせる地域づくり、家庭・学校・地域社会の連携強化、人権教育の推進、子どもたちの健全育成を図る。
	計画当初	① 亀岡市PTA連絡協議会研究大会への支援 ② 亀岡市PTA家庭教育委員会研修会(家庭教育支援事業と連携)への支援 ③ 本部役員会、理事会、家庭教育委員会への支援
	実績実施	亀岡市PTA家庭教育委員会研修会は年間2回を開催し、家庭教育支援事業と連携し、食育に関する講座と人権に関する講座を開催した。
社会教育関係団体 育成事業	目的	社会教育関係団体への補助金交付・活動支援を行い、生涯学習、社会教育の推進を図る。
	実績実績	4団体に補助金交付を行い、活動支援を行った。 亀岡市PTA連絡協議会 …120,000円 亀岡市子ども会育成連絡協議会 …105,000円 日本ボーイスカウト京都連盟亀岡第1団 …59,000円 ガールスカウト京都府第57団・緑の少年団 …59,000円
社会教育施設管理 事業	目的	社会教育施設の適正な管理に努める。
	実績実施	① 松熊教育集会所の運営 ② 七谷川野外活動センターの運営
社会教育委員の 設置	目的	社会教育法第15条及び亀岡市社会教育設置条例第2条に基づき、亀岡市社会教育委員を設置し、社会教育の推進を図る。
	実績実施	社会教育委員会議の実施 【現行委員】 12名 【任期】 令和6年6月30日まで
放課後児童健全 育成事業	目的	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に適切な遊び及び生活の場を提供することで、児童の健全な育成を図るとともに、子育て支援策の一環として保護者が安心して就労できる環境を提供する。

	実績 実施	放課後児童会の開設 【開設状況】 全18校区において32箇所で開催 【入会児童数】 990人(令和5年3月現在) ※他、夏季休業期間中等のみ入会児童あり。
文化財保護事務 〔歴史文化財課〕	目的	文化財保護行政の推進及び向上を図る。
	計画 当初	① 文化財保護委員会 ② 埋蔵文化財に係る行政指導
	実績 実施	① 文化財保護委員会を4回開催 ② 埋蔵文化財包蔵地での土木工事等について、指導を行った。
文化財保護 (補助事業) 〔歴史文化財課〕	目的	国営緊急農地再編整備事業(亀岡中部地区ほ場整備事業)等の開発に係る発掘調査及び史跡丹波国分寺跡の保存活用のための整備事業を行う。
	計画 当初	① 市内遺跡発掘調査 ② 史跡丹波国分寺跡記念物保存修理事業
	実績 実施	① 市内遺跡発掘調査(曾我部町内遺跡、篠窯業生産遺跡群) ② 僧房跡平面表示工事の実施
文化財保護 (補助事業) 〔歴史文化財課〕	目的	文化財保護法の改正に伴い、文化財の一体的な保存活用を行うために亀岡市でも文化財保存活用地域計画の作成を進め、今年度に文化庁認定予定。
	計画 当初	亀岡市文化財保存活用地域計画の作成事業
	実績 実施	12月亀岡市文化財保存活用地域計画が文化庁に認定
文化財保護 (単独事業) 〔歴史文化財課〕	目的	市内に所在する文化資料等の保存継承、伝承活動等に対する補助金事業と史跡等公有化した文化財の保存活用等管理事業を行う。
	計画 当初	① 文化財所有者・保護団体等への補助金事業 ② 国分寺保存活用事業 ③ 亀岡祭山鉾行事保存継承事業

	実績 実施	<ul style="list-style-type: none"> ① 市内の文化財所有者及び保存団体に対して、補助金を交付し、適正な維持管理に努めた。 ② 丹波国分寺跡の草刈り等維持管理を適切に行った。 ③ 亀岡祭山鉾行事等の保存継承活動に補助金を交付し、適正な保存継承活動に努めた。
子ども読書推進事業 〔図書館〕	目的	「かめおかつこ 夢・未来 読書プラン-第3次亀岡市子どもの読書活動推進計画-」に基づき、子ども読書活動の推進に向け、児童書の充実等により良好な読書環境を提供する。
	計画 当初	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書指導員配置事業(小学校) ② 図書購入(児童書) ③ 読書手帳「かめおかつこブックノート」の普及 ④ 学校配本事業の拡充(18校)、幼保配本事業(17施設) ⑤ 図書館による学校図書館支援事業(司書派遣) ⑥ かめおかつこ 夢・未来 読書フェスティバルの開催
	実施実績	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校図書指導員配置事業(小学校) 16校2学期まで約572回前年比回数増見込 ② 図書購入(児童書)は、約930冊 ③ 約180人への配布実績見込 ④ 学校配本は年間15,230冊、幼保配本は年間7,440冊配本。 ⑤ 今年度から学校教育課より学校司書を派遣したことから、図書館は大井小学校・保津小学校・つつじヶ丘小学校の3校に学校図書室の支援を継続。 ⑥ 11月27日ガレリアかめおかでの長谷川義史絵本ライブに約400人参加
ブックスタート事業 〔図書館〕	目的	11か月児健診において、赤ちゃん絵本をプレゼントし、家庭での親子読書の推進を図る。(現時点では、新型コロナ感染予防のため、絵本の読み聞かせは未実施)
	計画 当初	赤ちゃん絵本のプレゼント
	実績 実施	絵本のプレゼントのみを行い、年間約495冊を購入し配布。
文化資料館展示事業 〔文化資料館〕	目的	<p>歴史資料・民俗資料・考古資料の保存と活用、実物資料の展示等により、亀岡地域の歴史と文化について理解できる機会を提供する。</p> <p>令和4年度は、疫病や災害が妖怪などの仕業と考えた先人のこころを紹介する企画展と、地域における文化財保護のあゆみを紹介する企画展を開催する。また、長く亀山藩主であった形原松平家について、藩主としての采配や幕府の要職を務める譜代大名としての実態を紹介する特別展を開催する。</p>

	計 画 当 初	<p>① 企画展 ・第70回企画展 「怪異・妖怪に先人のところをみる」 7/16～8/28 ・第71回企画展「文化財の過去と未来」 2月～3月</p> <p>② 特別展 ・第38回特別展 「形原松平展－譜代大名・丹波亀山藩－」 10/22～12/4</p> <p>③ 常設展 「亀岡の歴史と文化」</p> <p>④ テーマ展 「荒賀龍太郎展」(4/29～6/5)</p> <p>⑤ ロビー展 「明智光秀展」(4/29～6/5) 「五月人形展」(4/16～6/5) 「戦争・平和展2022」(8/6～8/31)、「亀岡祭」(10月) 「ひなまつり」(3月)、「アユモドキ飼育展示」(通年)</p>
	実 績 実 施	<p>当初計画していた全ての展示会を開催した。</p> <p>見学者数：企画展(計 1,126 人)、特別展(計596人)、常設展(計 1,589 人)、テーマ展(計761人)、ロビー展(計 2,578 人)※令和5年 2月末時点</p>